

## 第4章

---

### 湯浅町の歴史文化の特徴

## 第4章 湯浅町の歴史文化の特徴

湯浅町の文化遺産は、その由来や伝来した場所、ゆかりの人物、歴史的な事象等によって、いくつかのまとまりとなる。それらを、トピックとして取り上げると、湯浅町の歴史の概要が点として浮かび上がってくる。このトピックを、縦軸を時代区分、横軸を「産業・経済」、「信仰・文化」、「政治・行政」とした整理表（図23）に配し、関連するトピックを繋いでグルーピングすることにより、湯浅町の歴史文化の特徴が見いだされた。

### ①湯浅の礎となった湯浅党の活躍

平安時代末期から鎌倉時代を通じて権勢を誇った湯浅党の活躍は、その後の湯浅の都市化の基礎となった。湯浅党は、軍事的な本拠地としての湯浅城を築き、平時の支配拠点や饗応施設としての屋敷を海に近い場所においた。また、一族から明恵上人らを輩出し、京の寺院との繋がりを背景に、仏教文化も華やいだ。勝楽寺には、このことを物語る仏像彫刻が伝わっているほか、明恵上人ゆかりの施無畏寺には、湯浅党の活躍をうかがわせる古文書や、明恵に関する遺跡、美術工芸品などが伝わっている。

### ②醤油醸造発祥の地

湯浅は、和食の代表的調味料「醤油」の発祥地と伝えられている。鎌倉時代、覚心がもたらした夏野菜を漬け込んだ味噌作りから醤油が生み出されたとされている。16世紀末頃にかけて旧市街地が形成され、そこを中心に多くの醤油醸造家が軒を連ねる商工業都市として繁栄した。湯浅町には、近世以降の地割が残され、近世から近代にかけての建築物からなる町並みや、伝統的な醸造方法を伝える道具類、そして今も江戸時代から続く醸造家から漂う醤油の香りが受け継がれている。

### ③海との関わり

湯浅は紀伊水道に面した地理的な背景もあって、海との関わりは深い。万葉集には「白上の磯」からの船出を歌ったものがあるなど、海上交通の拠点でもあった湯浅では、近世には五島列島や房総方面にイワシを求めて漁に出る漁民が多くあり、中には江戸等に店を持つ大商人となるものもあらわれる。また、漁に必須の漁網の製造は、非常に丈夫であると評判で、湯浅の一大産業でもあった。海との関わりは、人や物の交流を生み出してきた。

## ④熊野詣と熊野古道

平安時代以降、盛んに行われた貴賓たちの熊野詣では、12世紀以降、湯浅を宿泊場所とした記録が残されており、多くの貴賓たちを受け入れてきた。熊野古道沿道には、上皇や貴族にまつわる伝承地が伝えられている。熊野詣は、次第に一般庶民も行うようになった。熊野古道が旧市街地を通過する道町通りには、茶屋や宿、商店等が建ち並び、賑わった様子が伝えられている。

## ⑤人々の暮らしと文化

「湯浅一箇村の戸口の数、尋常の村四五十箇村にも勝るべし」（『紀伊続風土記』）と言われるほど、多くの人々が暮らす湯浅では、芸術文化が花開き、教育も盛んで、神社の祭礼は近隣からも人々が集って賑わった。沿岸では漁業が、山間ではみかんをはじめとした農業が営まれてきた。文人たちの芸術作品や、人々に親しまれてきた三面獅子などの芸能といった様々な文化遺産が、湯浅の人々の暮らしと文化の豊かさを伝えてくれる。

## ⑥有田地方の中心として

有田地方最大規模の円墳である天神山古墳があり、中世には湯浅党の本宗家が拠点を置き、その後には醤油醸造を中心とした商工業都市として繁栄した湯浅は、「一郡の都会繁昌の地なり」（『紀伊続風土記』）と評されるように、代官所や伝馬所、二歩口役所等の地方統治機関も置かれ、名実ともに有田地方の中心都市であった。近代化以降も、地方行政機関が湯浅に置かれ、有田鉄道や国鉄の敷設に伴って多くの旅客・貨物が湯浅に集まった。国鉄紀伊湯浅駅の周辺は新たな市街地となり、繁華街が形成されていった。

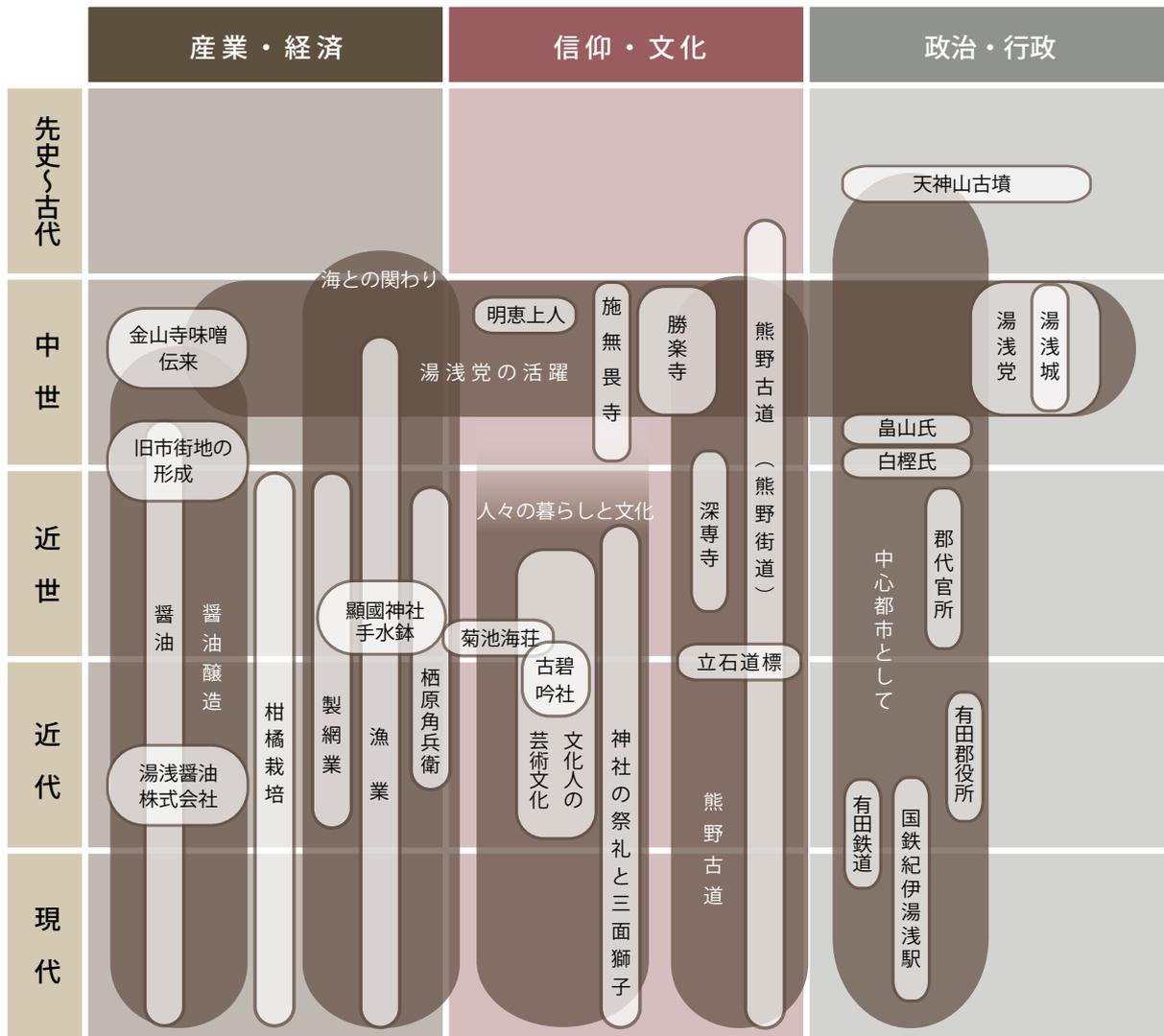


図 23 湯浅町の歴史文化の整理表

整理表をみると、湯浅の歴史文化は、相互に関連しあっていることがわかる。

特に、湯浅の歴史文化の礎となったのは、湯浅党の活躍である、ということが出来る。湯浅党の本宗家が、湯浅に拠点を置き、居館や寺社を整備し、町場の基礎が出来ていったことが、その後の醤油醸造の発祥や商工業都市としての繁栄に影響を与えたと言え、熊野古道の宿所としての利用がされるようになった背景には、湯浅党の統治による治安の安定等があるとも言える。これらの流れを受けて、近世から近代、そして現代にいたるまで、湯浅が有田地方の中心として繁栄し、経済力を持った人々による芸術文化が花開いた。

湯浅の歴史文化の特徴の中で、他の地域とは異なるものとして、醤油醸造に関する歴史文化があげられる。醤油醸造発祥の地、という訴求力の強い特徴を持ち、これまで様々な形で注目され、湯浅町においても伝建地区や日本遺産といった取組みが推進されてきたことによって、町内外の人々に認知されている歴史文化でもある。しかしながら、醤油醸造のみならず、柑橘栽培を中心とした農業や、日本各地に漁場を求めて活躍した漁業、そしてその重要な用具である漁網の製造等、湯浅には様々な伝統的な生業があつて、これらが相まって歴史文化を形成していることは忘れてはならない。